

きゅうしょくだより

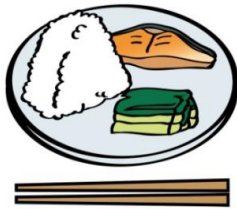
平成31年 1月21日
亀山市立井田川小学校

全国学校給食週間が始まります！

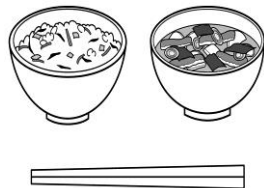
1月22日から1週間は「全国学校給食週間」です。学校給食が始まって今年で130年になります。この1週間は、学校給食の長い歴史を振り返り、学校給食の意義や役割について、たくさんの人に知ってもらい理解と関心を深める1週間です。井田川小の給食でも、『おにぎり給食』『かめやまっ子給食』『6年生作成リクエスト給食』などさまざまな取り組みをしています。

学校給食の歴史を考えてみましょう！

昔の給食の写真を 1月22日～1月31日まで、1階家庭室前の掲示板に展示しています。みてくださいね。



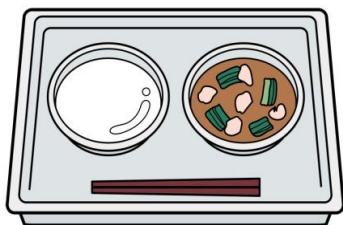
●明治22年（1889年） 約130年前
今から128年前に山形県鶴岡市の小学校で貧しい児童を対象に無償で給食を出したことが始まりです。当時の給食は塩むすびと塩ざけ、漬け物だけで質素なものでした。24日の給食は当時の献立の一部を再現した「おにぎり給と、すいとん」です。



●大正12年（1923年）ごろ 約95年前
少しのおかずやごはんでも栄養がとれるように、具をたくさん入れたみそ汁や混ぜごはんの給食でした。

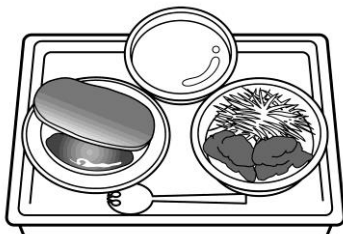


●昭和18年（1943年）ごろ 約75年前
戦争がはげしくなってくると、日本中で食べ物にならなくなってきて、学校給食も一時中止されました。

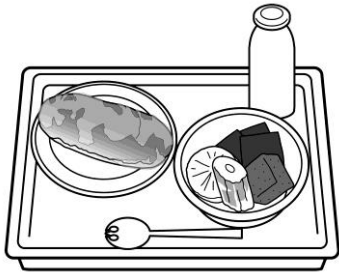


●昭和20年ごろ
戦後、外国から脱脂粉乳と小麦粉が贈られ、脱脂粉乳とみそ汁などの汁ものが中心の給食が再開されました。

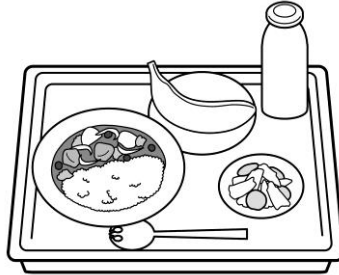
脱脂粉乳って？
牛乳から脂肪分を取り除いて粉にしたものです。お湯で溶かして作ります。



●昭和27年（1952年）ごろ 約65年前
このころは値段が安かったので、くじらの肉が学校給食によく使われました。パンは1コが100gぐらいあって今より1.5倍くらいの大きさでした。食器は今のようにはきれいなものではなく、銀色のアルミ製がほとんどでした。



●昭和39年（1964年）ころ 約55年前
 このころから脱脂粉乳ではなく、牛乳が給食につくよう
 になりました。牛乳には成長に欠かせない栄養素がたくさ
 ん含まれているので、毎日給食についています。
 当時はまだ、米飯がなかったためパンとおでんという変な
 組み合わせもありました。食器もアルミ製の食器です。



●昭和52年（1977年）ころ 約40年前
 昭和50年代になると、米飯給食が始まりました。
 このころはバナナがよく給食に登場しました。
 スプーンの先がフォークのようになった先割れスプーンを
 使っていました。

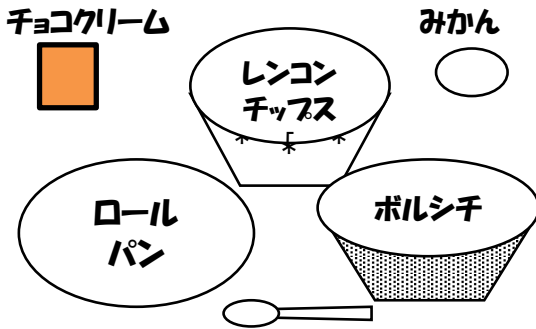
昔は食べるものも今ほど豊かではありませんでした。お米の一粒も無駄にせず、食
 べることに感謝の気持ちを持っていました。ところが、現在は食べ物があふれ、
 いつでも好きなものが食べられるようになり、好き嫌いや朝食ぬき、食べ残しなど
 の問題がおこっています。『食べる』ということをあらためて考え、この機会に食
 べられることへのありがたさを感じたいものですね。



6年生の考えたリクエスト給食!

1月22日(火)の献立

6年4組 4班さんの献立に決定



献立を考えるとときに工夫したことは・・・
 ○しょっぱいものを食べた後に、甘いものを食べた
 くなるのでチョコクリームを入れました。
 チョコクリームは、給食に出たことがないので
 入れました。旬のみかんを入れました。

6年3組 4班さんの献立に決定

1月25日(金)の献立

献立を考えるとときに工夫したことは・・・
 ○野菜を多く入れて、バランスよくしました。
 スープを入れたので、寒い季節は体があたた
 まります。いろいろな色を使って、見た目の
 いろいろもよくしました。

